

総務文教常任委員会

R 6 . 8 . 2 0 (火)

午後 1 時 3 0 分 ~

全員協議会室

1 開 議

2 案 件

(1) 行政報告

総務部

○ 亀岡市庁舎への太陽光発電設備等導入事業 (P P A 事業) について

○ 亀岡市暴力追放協議会設立 4 0 周年記念「暴力追放市民大会」について

会計管理室

○ メルカリ S h o p s の導入について

教育部

○ 児童生徒の万博体験事業について

○ G I G A スクール構想に基づく 1 人 1 台端末の整備計画について

3 意見交換会

教育部

○ 不登校対策について

4 その他

(1) 次回の日程等について

令和6年8月20日

総務文教常任委員会

【 提 出 資 料 】

総務部

亀岡市庁舎への太陽光発電設備等導入事業(PPA 事業)について

R6.8.20 総務常任委員会資料
総務部総務課**1 事業内容**

市庁舎において、再生可能エネルギーの利用促進による温室効果ガスの削減を図るため、PPA 事業により市施設へ太陽光発電設備(ソーラーカーポート)等を導入します。平時には、太陽光発電システムの再生電力の利用による CO2 削減を図り、災害停電時には太陽光発電システム及び蓄電池による電力を避難所運営等に活用します。

※ PPA とは、発電事業者が、市の施設に太陽光発電設備を発電事業者の負担で設置し、所有・維持管理をしたうえで、発電設備から発電された電気を市が購入する仕組みで、「第三者所有モデル」とも言われます。

(設備等概要)

太陽光発電容量:187.44kW 蓄電池容量:16.4kWh

温室効果ガス排出削減量:約91,674kg-CO2/年

2 事業目的

- ・再生可能エネルギーの活用による CO2 排出量削減(地球温暖化対策の強化)
- ・災害などの停電時に太陽光発電システム及び蓄電池による電力を避難所等に供給(レジリエンス強化)

3 事業期間

令和6年度～令和26年度(20年間) 令和6年度当初予算 債務負担行為設定 135,760千円

4 工事期間

工事期間中(令和6年9月20日～令和7年1月31日予定)、一般の来庁者駐車場は使用が出来ませんので、民間の駐車場を借り上げ、臨時駐車場を設けます。(軽駐車場は利用可能。)

5 補助金

事業実施にあたり、環境省の補助金を活用します。

補助金名:「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業(二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)」

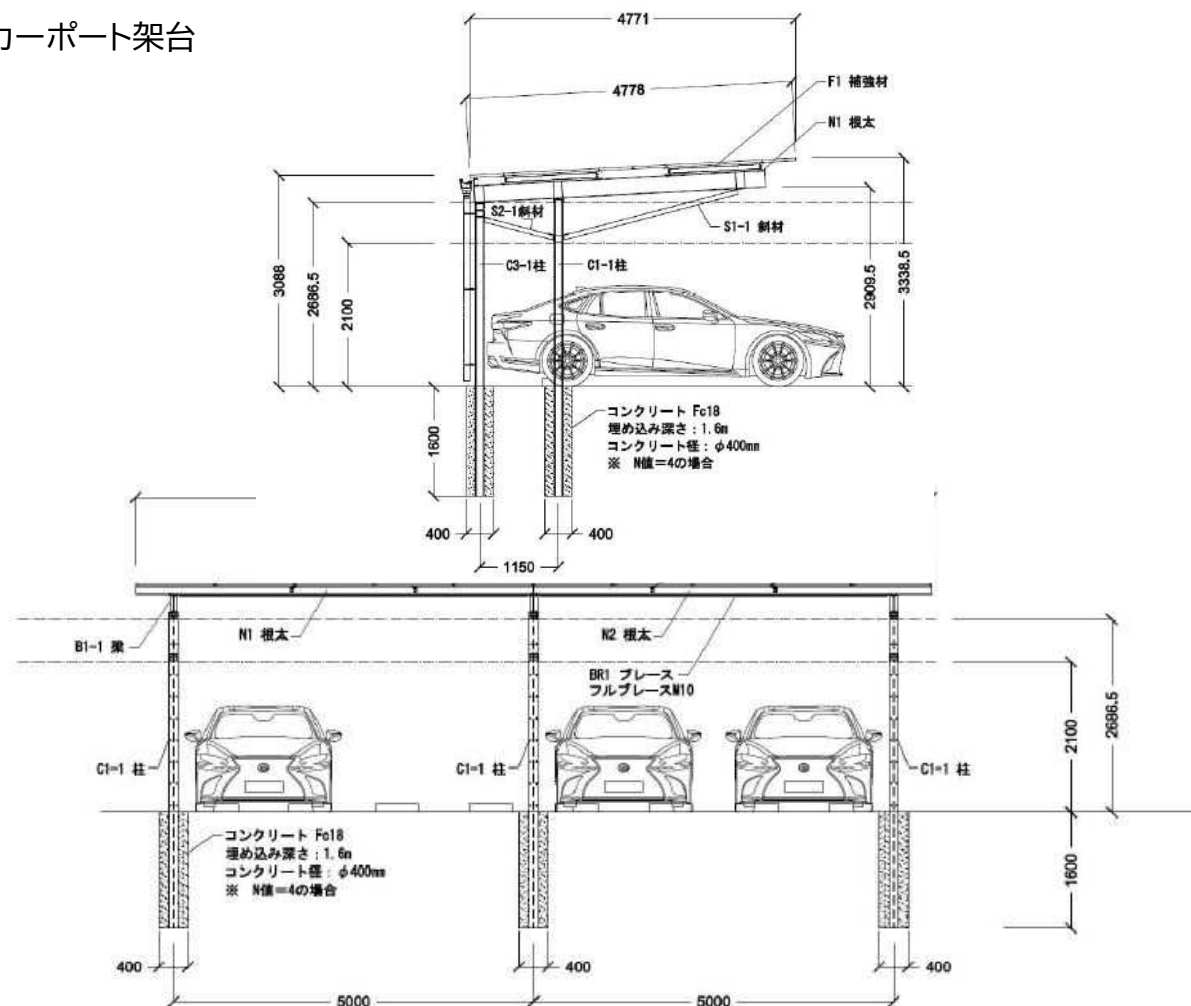
6 実施事業者

SMFL みらいパートナーズ株式会社

ソーラーカーポート配置図



カーポート架台



《開催概要》

亀岡市暴力追放協議会設立40周年記念

暴力追放市民大会

～みんなの力で暴力・違法銃器・違法薬物を追放しましょう～

主 催 亀岡市暴力追放協議会

日 時 令和6年9月21日(土)午後1時30分～午後3時30分

場 所 ガレリアかめおか コンベンションホール

内 容 ◆オープニング演奏
亀岡市太鼓連合会

◆式典・宣言等

◆防犯寸劇
亀岡防犯推進委員連絡協議会・亀岡平安レディース隊

◆記念講演
講師：辻 健 さん
元 亀岡警察署刑事課組織犯罪対策係

共 催 亀岡市・亀岡警察署・亀岡地区公共料金等暴力対策連絡会

後 援 京都府南丹広域振興局・亀岡市自治会連合会・亀岡商工会議所
亀岡防犯協会・亀岡防犯推進委員連絡協議会・亀岡交通安全協会
(公財)京都府暴力追放運動推進センター

メルカリShopsの導入について

1 導入目的

公有財産の売却システムの拡大につきまして、不要となった市が所有する物品等を希望する第三者へ譲渡及びリユースを強力に推進するため、株式会社メルカリが開発・運営する「メルカリShops」を新たに導入することといたします。

「メルカリShops」は実店舗を有さず、オンライン上で自由に物品の売買が行えるフリーマーケットのような電子商取引媒体であり、その月間利用者数は2,300万人以上で、利用者数は年々増加しております。

この膨大な月間利用者数を擁する電子商取引媒体に参画することにより、不要となった市有財産等の認知率・売却率を格段に向上させるとともに、リユース促進を加速化させ、ごみの減量化を図り、SDGs社会・循環型社会の実現を目指します。

また、携帯電話端末等を用いて、より少ない工程で出品できるため、事務の効率化を実現します。

2 今後の予定

8月23日に「メルカリShops」の導入に係る記者発表を行います。次いで、同27日午後より、株式会社メルカリとの共同オープニングセレモニーを実施することとし、「メルカリShops」の開店・運用開始を予定しております。

3 メルカリShopsとは

東京都港区に本社を置く、株式会社メルカリが展開するオンライン上にて、フリーマーケットのように物品の売買を行えるモバイルアプリケーションである「メルカリ」のなかで、主に事業者を対象としたオンラインショップの開設及び物品の販売を促進・支援するサービスです。すでに複数の官公庁でオンラインショップの開設実績がございます。

4 メルカリShopsの主な選定理由

- 出品数は累計30億品以上(2022年11月公式HPより)、月間利用者数は2,300万人(2024年3月説明会資料より)を擁する電子商取引媒体に参画することで得られる、規模の経済性・優位性(スケールメリット)がございました。
- 全国、24時間、365日購入可能であり、また決済手段も豊富なため、高い販売率・販売価格が期待できます。
- 出品手続きはインターネット上で完結するため、公売会場等の設営が不要であり、かつ従来のインターネットオークションに比べまして、出品・落札までの作業工程が少なく、落札毎の契約締結が不要なため、人的資源の省力化が期待できます。
- 初期費用、固定費用は無料であり、また、官公庁・自治体が運営する「メルカリShops」について特設ページが設けられており、出品・販売の強力な支援が受けられます。

5 その他

今年度はモデル事業として実施いたします。本事業は、不要となった市有財産等の売却システムの拡大及び売却の効率化、循環型社会の実現を図るものです。売却金額や売却率等の実績・数値を勘案して、令和7年度からの本格稼働に向けた検証を行います。

総務文教常任委員会 資料

令和6年8月20日（火）

教 育 部

児童生徒の万博体験事業 (概要)

「こどもたちに特別な学びの機会を！」



1 目的

2025年に開催される『大阪・関西万博』(大阪 夢洲)は、『いのち輝く未来社会のデザイン』をテーマとして、多様な国の文化や価値観に触れ、国際理解を深めるとともに、未来社会について考える貴重な機会であることから、児童生徒の校外学習、すなわち教育の一環として万博を体験できる機会を創造する。

2 事業内容

市立小・中・義務教育学校の全ての児童生徒へ万博での校外学習の機会を提供する
(ポイント)

活動単位は、学校・学年・学級等 各校の
状況判断によるものとする

実施日は、開催期間中(4/13~10/13)で
各校判断とする

◆経費スキーム◆ ○ 入場料 ⇒ 府費対応 ○ 交通費・昼食費等 ⇒ 市費対応

<市費積算内訳> 債務負担行為設定額:60,773 千円(R6.9月議会上程予定)

・貸切バス @193,600×209 台÷40,463 千円

・有料道路・駐車場 @20,000×209 台=4,180 千円

・昼食代 @2,200×7,332 人÷16,130 千円

※債務負担行為設定理由 : R7.4月からの活動も視野に入れ、また、移動手段や昼食など各種手配業者確保のため早期に契約締結(本年中)することにより着実に業務を実施するため

●事業のねらい●

- ①現地だけでなく事前・事後学習を通じ、自主的に学びを深め成長する、探求型学習の機会につなげる
- ②経済的な格差が体験の格差とならないよう、公費での校外活動として、万博で得られる学びの機会提供につなげる
- ③「いのち」「SDGs」「国際理解」「未来社会」を考え、体感 体験できる、教育的意義がある機会提供につながる

—学校教育課—

GIGA スクール構想に基づく1人1台端末の整備計画について

1. 経過

令和2年度末： 国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末を整備

令和3年度～： 中学3年生へ卒業時に譲与し、新小学1年生用に端末を毎年購入

令和6年1月： 国が「GIGA第2期」の端末整備に係る補助金交付要綱等を策定

※「GIGA第2期」…令和6年度から令和10年度

2. 1人1台端末の整備計画の概要

今般の補助金の動向及び端末の耐用年数を踏まえ、児童生徒用端末の整備を次のとおり計画的に実施していくこととします。

【児童生徒用端末の整備計画図】

	年度	黒字…単費 赤字…補助対象		小学校						中学校		
				1	2	3	4	5	6	1	2	3
		端末耐用年数6年で見込										
1期 ↑	R3	a~i	9学年	a	b	c	d	e	f	g	h	i
	R4	j	1学年	j	a	b	c	d	e	f	g	h
	R5	k	1学年	k	j	a	b	c	d	e	f	g
G I G A 第 2 期	R6	1 当初予算で購入済 m,n	1学年 2学年	l	k	j	a	b	c	d	e	f
	R7	o,p	2学年	m	l	k	j	a	b	n	d	e
	R8	q,r	2学年	o	m	l	k	j	a	p	n	d
	R9	st	2学年	q	o	m	l	k	j	r	p	n
	R10	u,v 上限まで補助金	1学年 1学年	s	q	o	m	l	k	t	r	p
↓ 3期	R11	wx	2学年	u	s	q	o	m	l	v	t	r
	R12	yz	2学年	w	u	s	q	o	m	x	v	t
	R13			y	w	u	s	q	o	z	x	v

- ・令和6年度、9月補正で2学年分（m、n）を予算計上。
- ・令和7年度以降、当初予算で2学年分を予算計上。
- ・中学3年生が使用した端末は、譲与し卒業後の学びを支援。
- ・小学6年生が使用した端末、学校・教育委員会で再使用又は有償売却による再資源化。

令和6年8月20日（火）

総務文教常任委員会

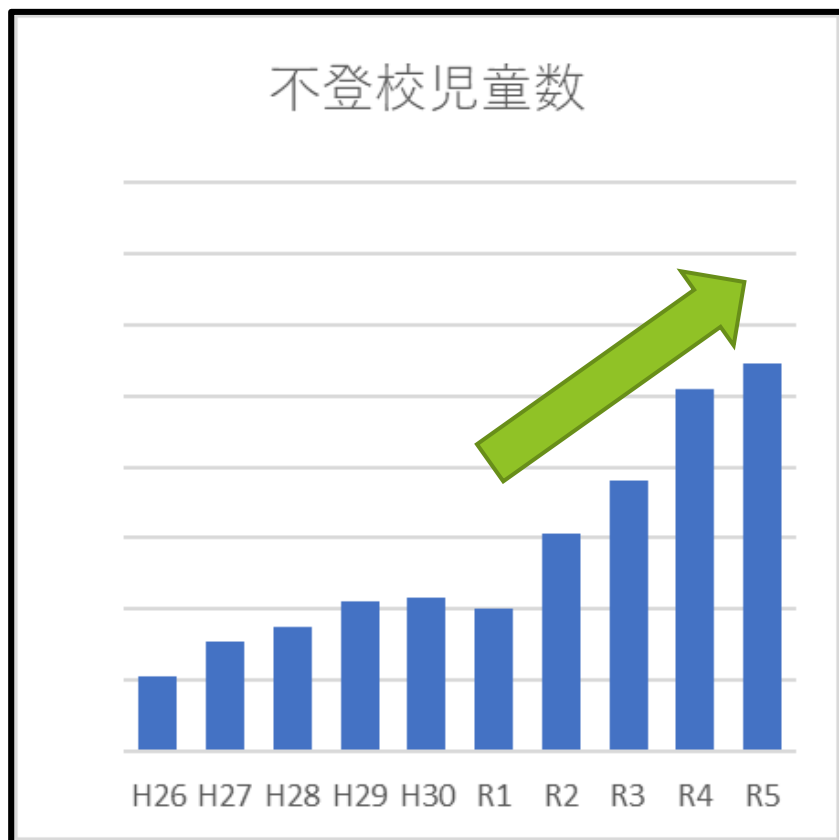
意見交換会

○不登校対策について

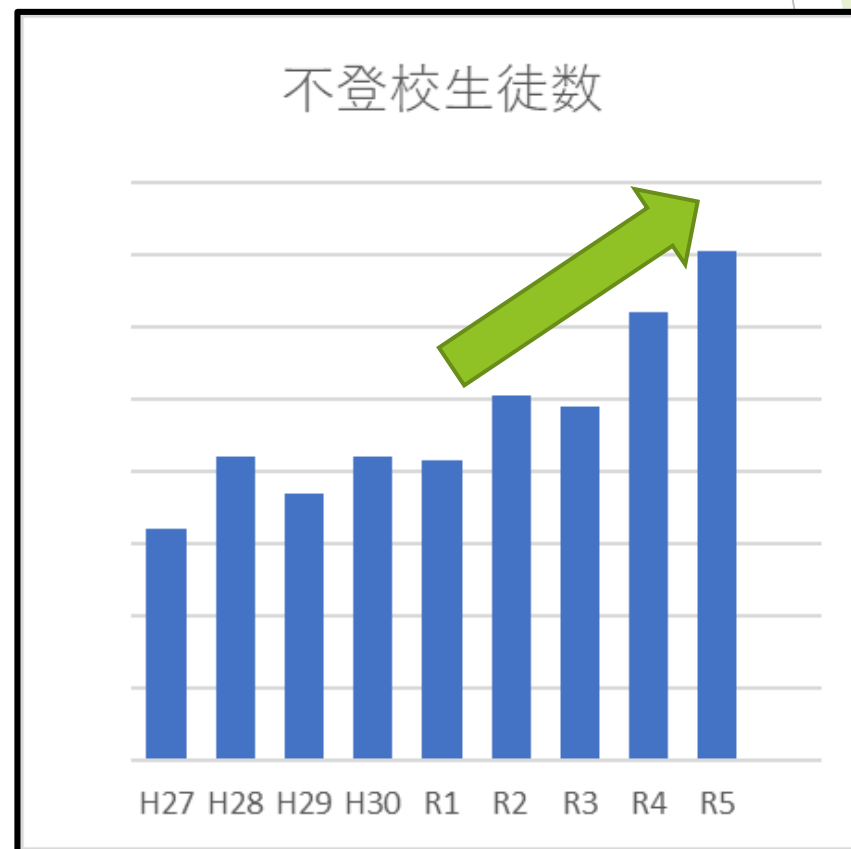
亀岡市教育委員会
学校教育課

亀岡市 不登校児童生徒の状況

小学校



中学校



令和元年から急速に増加

不登校児童生徒への支援に対する考え方

- ・ **教育機会確保法（平成28年）**
- ・ **生徒指導提要の改訂（令和5年）**

学校での支援体制

- ・ スクールカウンセラー
- ・ まなび・生活アドバイザー
- ・ 心の居場所サポーター

学校での教室以外の指導・支援体制

- ・ 学校での不登校児童生徒の対応について
- ・ 学校での「別室支援」の対応について

亀岡市の学校以外の「居場所」

教育支援センター（適応指導教室）

場所：みらい教育リサーチセンター（宮前町）

小学生…やまびこ教室
中学生…ふれ愛教室

それ以外にも、みらい教育リサーチセンターでは、

「**教育相談**」を行っています。

不登校等に対する悩みを**教育相談員・臨床心理士**が相談にのります。

亀岡市の学校以外の「居場所」

亀岡市にあるフリースクール（令和6年5月現在）

- ・ **学びの森** （南つつじヶ丘大葉台）
- ・ **育ちとつながりの家ちとせ** （千歳町）
- ・ **Baseサポートルーム** （千代川町）

学びの機会を確保する支援

亀岡市まなびの機会サポート事業

フリースクールを利用するために要する費用の一部に対し、市が補助金を交付する制度
(補助金額：1人当たり月額最大1万円)

最後に

支援の目標は
子どもたちが**精神的にも**
経済的にも自立し、
豊かな人生を送れるような、
社会的自立を果たすこと